

令和4年度決算がまとまりました

前期高齢者納付金が一時的に激減し良好な財政状況
しかし今後は、保険給付費、納付金の増加により厳しく

令和4年度決算案などを審議するCNCグループ健康保険組合の組合会
が7月24日(月)に開催され、収入支出決算案などの議案が全会一致で承認
されました。

一般勘定の収入総額は7億1943万3千円、支出総額は5億8313
万9千円、収入支出差引額で1億3629万4千円の残金を計上すること
ができました。また、単年度の財政状況を示す経常収支でも、経常収入合
計は7億918万5千円、経常支出合計は5億7257万9千円、経常収
支差引額は1億3660万6千円の黒字になりました。

これは、健保財政にとって保険給付費とともに二大支出となっている納
付金のうち、後期高齢者支援金は毎年着実に増加しているものの、前期高
齢者納付金が過去分の概算納付額と確定納付額の精算により減額・返還と
なったことなどにより、ほぼ0になったことが大きく寄与しています。

しかし、これはコロナ禍などによる一時的かつ特例的なものであり、令
和7年にかけて団塊の世代が後期高齢者になることなどから、今後納付金
が増加することは確実であり、保険給付費も増加していることから、健保
財政を取り巻く環境は厳しさを増すことが必至の状況です。

令和4年度 一般勘定

収入

保険料率は前年と同率の1000
分の88で、保険料収入は前年度から
1549万3千円増の6億8333
万7千円、調整保険料収入1024
万8千円、その他の収入を含めた収

入総額は7億1943万3千円と、
前年度から1億1381万4千円
の減少となりましたが、これはお
もに納付金の減少により準備金か
らの繰入金の必要がなかったこと
によりです。

令和4年度収入支出決算の概要

一般勘定

決算基礎

- 被保険者数 2,298人
- 平均年齢 29.26歳
- 平均標準報酬月額 266,816円
- 保険料率 88/1000

収入

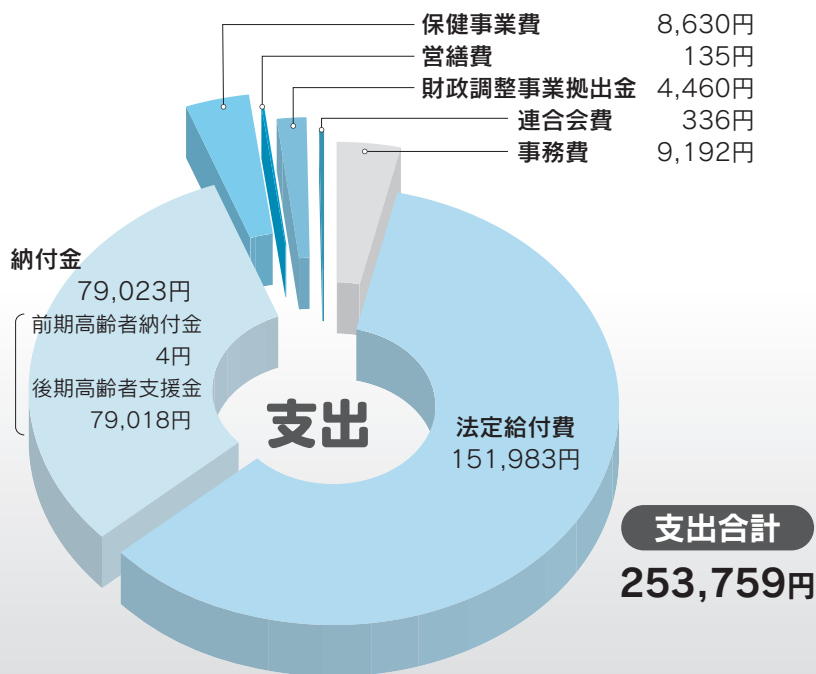
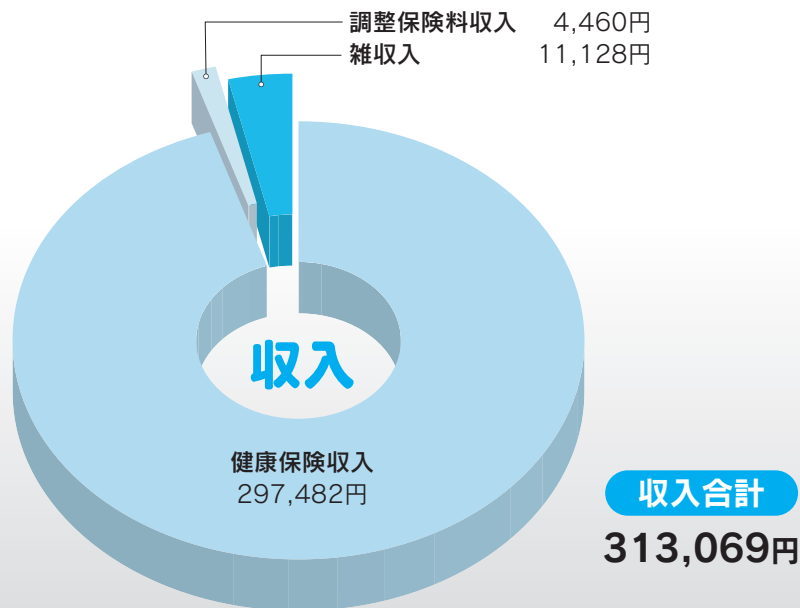
科 目		決算額(千円)
健康保険収入	保 険 料	683,337
	国庫負担金	276
調 整 保 険 料 収 入		10,248
雑 収 入		25,572
合 計		719,433



支出

科 目		決算額(千円)
事 務 費		21,124
保 險 給 付 費	本 人	242,693
	家 族	90,772
	高 齢 者	583
	高額療養費	15,210
納 付 金	前 期 高 齢 者 納 付 金	9
	後 期 高 齢 者 支 援 金	181,584
	病 床 転 換 支 援 金	1
保 健 事 業 費	特 定 健 康 診 査 事 業 費	2,872
	特 定 保 健 指 導 事 業 費	57
	保 健 指 導 宣 伝 費	5,537
	疾 病 予 防 費	11,365
営 繕 費		311
財 政 調 整 事 業 抛 出 金		10,249
連 合 会 費		772
合 計		583,139

被保険者1人当たり収支



■ 支出

事務費 211万2千4百円、保険給付費（法定給付費）全体で3億4925万8千円、高齢者医療制度にかかわる納付金等が1億8159万4千円、保健事業費は特定健康診査事業費（特定健診・特定保健指導）2

92万9千円、保健指導宣伝費53万7千円、疾病予防費113万5千円を計上、保健事業費全体で1983万1千円、その他の支出を含めた支出総額は5億8313万9千円と、前年度から4860万6千円の減少となりました。



令和4年度収入支出決算の概要

介護勘定

決算基礎

- 第2号被保険者数 平均標準報酬月額 320,058円
- 介護保険料率 20/1000
- 本人 170人 家族 50人

収入	科目	決算額(千円)	1人当たり額(円)
	介護保険収入	14,451	85,006
支出	雑収入	1	6
	合計	14,452	85,012
収入	介護納付金	11,191	65,829
	合計	11,191	65,829

保険料率は前年と同率の1000分の20で、介護保険収入は1445万1千円、一方、支出は、介護納付金が前年度から10万1千円増の1119万1千円となりました。介護勘定の収入支出差引額は326万1千円となっています。

介護勘定